

この子らと

令和6年9月号

命輝く子ども



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

人皆美しき種子あり

明日 何が咲くか(阿積)

「俳句が与えた感動」

～俳人 夏井いつき先生の句会ライブ～

テレビ番組「プレバト」で俳句を担当されている夏井いつき先生は、各地で句会ライブを実施されておられます。

小説坊ちゃんの舞台となった愛媛県松山市の中学校で句会ライブが行われました。

俳句の季語は「春の雲」でした。体育館に集められた生徒は俳句づくりに取り組みました。

「だれか、発表してくれる人いませんか。」と夏井先生。すると体育館の後ろの方からざわめきが起こりました。一人の生徒の歩みとともにそのざわめきは体育館中に拡がっていきました。



踏み崩した靴、はみだしたシャツ、そしてすごい眼光、他の生徒たちがいつも遠巻きに見ていた生徒が舞台上上がりました。からかいのつもりだったのかもしれませんが。夏井先生は聞きました。「どんな句ができたの」生徒は答えました。「春の雲 きれいな声はだれだろう」

「とてもいい句ですね。」「聞こえてきた歌声が、きれいだと感じたあなたの感性がすばらしい」と夏井先生。うつむいた生徒からぼたりぼたりと大粒のなみだが舞台に落ちていました。

子どもたちは、本来、みずみずしい感性、豊かな人間性、そして無限の可能性をもっていると信じています。

その種子がいつ花開くのか、不良と敬遠されていた生徒の心を変えたものは、今回は「俳句」と夏井先生のかかわりでした。教育・保育の方法もタブレット・パソコン・デジタル教科書等 ICT の波が押し寄せています。今回の句会ライブは、置き去りにされてはいけない大事な教育だと思いました。

「不易と流行」を今こそ、熟考するときと思っています。

「青春とは」 サムエル・ウルマン

真の青春とは、若き肉体にあるのではなく、若き精神の中にこそある。

バラ色の真っ赤な唇、しなやかな肉体、そういうものは、たいした問題ではない。問題にすべきは、強い意思、豊かな想像力、燃え上がる情熱、そういうものがあるかないか。

こんこんと湧き出る泉のように、あなたの精神は今日も新鮮だろうか。生き生きとしているだろうか。臆病な精神の中に青春はない。大いなる愛のために発揮される勇気と冒険心の中にこそ青春はある。

さあ、眼を閉じて思い浮かべてみよう。あなたの心の中にある無線基地。青空に高くそびえたつ、たくさんの光輝くアンテナ。アンテナは受信するだろう。偉大な人々からのメッセージ。崇高な大自然からのメッセージ。

世界がどんなに美しく、驚き満ちているか。生きることがどんなに素晴らしいか。

あなたの心のアンテナが、今日も青空高くそびえたち、命のメッセージを受信し続ける限り、たとえ、80歳であったとしても、あなたは常に青春。

→ **いつも励ましてくれている詩です。**

不適切な保育について

「子どもに恐怖・不安を与える保育」「物事を強要する」「脅迫的な言葉かけ」「乱暴なかかわり」「差別的なかかわり」が不適切な保育です。

□ **不適切な保育の多くは**、保育者が各クラス等集団の中での生活習慣やルール・マナーをしつけようとしたときに、強い叱責や腕引っ張り等不適切な保育が出現することがあります。 **大事なことは**、「集団行動になじめないのは、「困った子ども」ではなく「困っている子ども」という見方をすること、しつけは職員に従わせることではないことを認識して、生活の中で楽しく身に付けさせる適切な保育の実践を再確認いたしました。